

目指す成果の社会的意義・有用性

がんは1981年以降、日本における死因の第1位

約33万人(全死亡の約30%)ががんが原因で死亡

がん罹患生涯リスクは男性では2人に一人、女性では3人に一人

がんの医療費は約3兆円/年

患者の80%は最後までがんと闘いたいと考えているが、
医師の20%未満しかがんと最後まで戦うと考えていない
(この意識ギャップが多くのがん難民を生む一因)

多くのがん難民に、生きる望みを
再発予防によるがん患者の人生の質の向上を